

ご案内

今回の研究会は、センシング技術応用研究会(SSTJ)とニューセラミックス懇話会(NCF)との共催で行います。この研究会では、「味や匂いを計測するセンサ技術」と「カドミウムフリー量子ドットを用いた発光材料」についてご講演して頂きます。今回は、分野の異なる二つの講演になっていますが、いずれも興味深い最先端の内容です。参加ご希望の方は、申込書にご記入の上、8月20日(木)までにFAXもしくは電子メールで事務局へお申し込みください。多数お誘い合わせの上ご来会くださいますようお願い申し上げます。

記

日時 令和2年8月28日(金) 13:25~16:35

会場 堺市産業振興センター 4階 セミナー室 5

〒591-8025 大阪府堺市北区長曾根町183番地5

主催 センシング技術応用研究会・ニューセラミックス懇話会

後援 地方独立行政法人 大阪産業技術研究所

連絡・申込先

センシング技術応用研究会 事務局 TEL 0725-51-2534 FAX 0725-51-2597

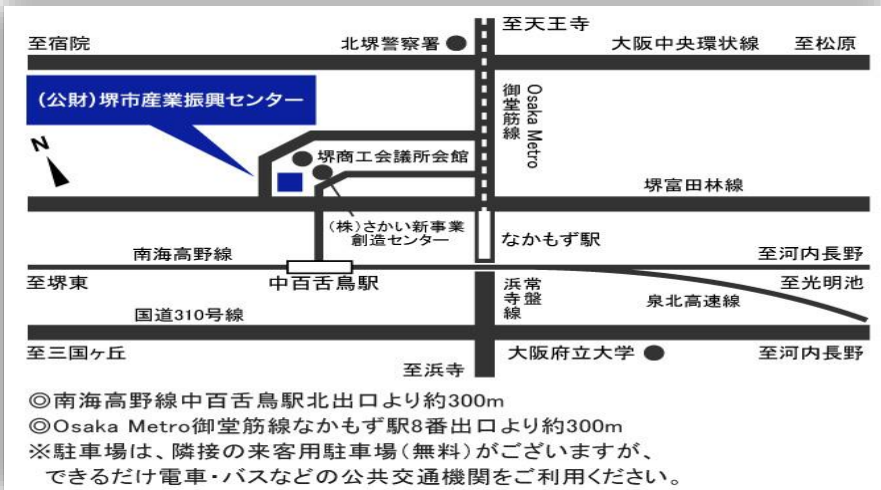
E-mail sstj@dantai.tri-osaka.jp URL http://tri-osaka.jp/dantai/sstj/

ニューセラミックス懇話会 事務局 TEL・FAX 0725-53-1919

E-mail newceramicsf@dantai.tri-osaka.jp URL http://tri-osaka.jp/dantai/ncf/

〒594-1157 和泉市あゆみ野2-7-1 大阪産業技術研究所 和泉センター内

★交通アクセス



開会挨拶 13:25~13:30

<講演>(1) 13:30~14:50(質疑応答を含む)

「味と匂いのセンシングの現状と展開」

※オンライン講演となる可能性があります。

九州大学高等研究院 特別主幹教授/

五感応用デバイス研究開発センター 特任教授 都甲 潔 氏

近年、味と匂いの計測技術の研究開発がとみに活発になってきている。味覚センサは既に実用化され、全世界の食品・医薬品メーカーで活躍している。匂いセンサについては開発が遅れていたものの、環境や医療用途、食品向けと幅広い展開が期待されるため、多くの機関で研究開発されている。測定原理は質量や電気抵抗、酸化還元を測るなど多岐に渡る。講演では日本で開発された味覚センサと電気抵抗を測る人工嗅覚システムを紹介する。

<休憩>14:50~15:10

<講演>(2) 15:10~16:30(質疑応答を含む)

「カドミウムフリー量子ドットの機能向上」

大阪大学大学院工学研究科 応用化学専攻 桑畑研究室 講師 上松 太郎 氏

半導体量子ドットはこの10年間、実用的な蛍光材料として飛躍的な発展を遂げた。バンド間遷移を利用した発光は有機、無機のいずれの蛍光色素とも性質を異にするが、表面修飾剤を含む粒子全体の構造が発光に寄与しているため、設計と合成には様々な知識が必要とされる。本講演は、11、13、16族元素によって構成されるカドミウムフリー量子ドットから色純度の高い発光を得るまでの過程と、同材料の将来展望について紹介する。

閉会挨拶 16:30~16:35

研究会参加申込書 [締切日 8月20日(木)]

所属名	
所在地	〒
	TEL. FAX.
	Email:
参加者	
(1人目)	
(2人目)	